

一年でいちばん大切な法要

ほうおんこうほうよう

報恩講法要 (ご案内)

ほうおんこうほうよう しょうそ しんらんしょうにん めいにち
報恩講法要とは、宗祖・親鸞聖人のご命日に行われる法要です。
しんらん であ
今も生きている親鸞の教えに、私たちが出会うための法要です。

2024年(令和6年)

11月2日 (土) 14時～17時 報恩講のゆうべ
3日 (日) 12時～15時 報恩講法要

法話：田中 顕昭さん

(九州教区・長崎県西教寺住職)

講題：共に本願を生きん

場所：存明寺



○九州は長崎県大村市から田中顕昭先生にお越しいただきます。

田中先生は住職と同一年、情熱あふれる先生です。是非ご法話をご聴聞ください。

○3日はお齋(精進料理のお昼ごはん)をご用意します。

両日ともに事前のお申し込みは必要ありません。どうぞ直接ご参詣ください。



しんしゅうおおたには ぞんみょうじ
真宗大谷派 存明寺

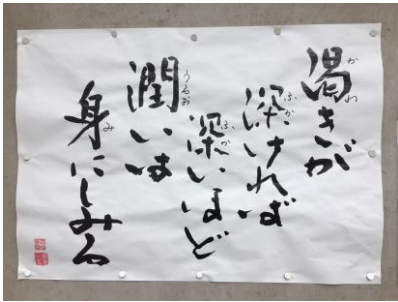
〒157-0061 東京都世田谷区北烏山4-15-1

TEL 03-3300-5057

存明寺のHP <https://zonmyoji.jp>

京王線千歳烏山駅、井の頭線久我山駅から徒歩20分

お寺の写真館



当日の日程

11月2日(土) 報恩講のゆうべ

14:00 報恩講法要

15:10 挨拶・感話 (酒井大樹さん)

15:30 法話 (田中顕昭さん) 17時閉会

11月3日(日・文化の日) 報恩講法要

12:00 受付・お齋 (精進料理の昼食)

12:40 開会・感話 (三好浩一さん)

13:00 法話 (田中顕昭さん)

14:00 報恩講法要

15:00 閉会

※閉会后「門徒交流会」があります (参加自由)

田中顕昭さんからのメッセージ

あなたは 人間ですか

人間 ジンカンと読みます。人と人之間を生きるもの。

仏教では 縁 という大切な教えがありますね。全ては繋がっていること、無関係なことはないということ。

沖縄の基地の前に立つ。一機の戦闘機の離陸の爆音、隣人との会話も聞こえない凄まじさ、沖縄の日常。でも、私の生活の場にいると聞こえない、忘れて何事もなくくらしている。ひと昔前に三無主義という言葉が流行った。無気力 無関心 無責任。人のこころが見えない、見ようもしない姿。人間が小さくなっていく。

六月の雨の日、雨の中、三輪車に乗って遊んでいる子どもに会った。何してるのかと見ていると、顔を空に向けて大きく口を開けている。嬉しそうに笑いながら、降ってくる雨を食べていた。感動した。この子は雨も友だち。世界と生きてるんだ。忘れものおもいだしたように、僕も空を向いて雨を食べた。

「阿弥陀さまはね、ともに悩む人、共に迷う人なんや。

本願を背負うて、オタオタ生きとる人や。悟りきって向こうにいるんやないんや」

そこに阿弥陀さんはいる。親鸞さんはいる。

おみがきのつどい

2024年10月18日(金) 10時~12時 存明寺にて

報恩講法要に向けて仏具のおみがきと清掃のつどい。

ご協力をお願いします。昼食をご用意します。

◆報恩講法要は皆様のご懇志によって支えられています。お布施 (おこころざし) のご志納をお願い致します。